



北海道の三大祭り 根室の風物詩

金刀比羅神社新聞 例大祭 & 神社の犬

北斗小 学校
渡邊翔大 4年
渡邊雄大 2年



こんぴらさんの真祭り

根室市では、明治二十一年より始まった歴史の長い金刀比羅神社例大祭という、にぎやかなお祭りが行われます。二、三日目には、神輿渡御があり大行列が市内を練り歩きます。先頭は、行刺、先導金棒、巫女、獅子、洗車役の猿田彦、お稚児さんなど続き、重さ約一、五トにある神様がのったお神輿を約百二十人の若者で「ワッショイ」と言いつつ担ぎます。神社行列の後には、四つの祭典区による留、太こ、今古まい、子供神輿、追力のある山車が続きます。約千五百人の参加者、長さ一キロメートルにもなる大行列が、にぎやかに市内を歩きます。



「これから神様がのるよ!!」

エンヤ エッサ



交代で担ぐよ!!
◎子供奴の掛け声は色々あります◎
「ひーさーよ、あーりや、いーあーあーりや」
「はれわいさのせ、あーりや」



「お祭りの夜には、お旅所前で音の競演」があります。四つの祭典区の先太さや山車などがぶつかり合い、迫力があります。大勢の人々が集まり、このお祭りの見所となっています。ぼくと弟は、子供奴に参加しました。一週間の練習を経て、本番を無事終えることができました。雨の日もありましたが、うでを組んで奴歩きで元気がよく市内を歩きました。夏休みの良思い出になりました。

北方領土の神社について

戦前、千島列島には69社の神社が確認されています。昭和20年の終戦直後、北方四島は現ロシアに不法占拠され、島民達は島を追われ、必死に戦った北方領土の勿来島、志保島、水晶島、色丹島、国後島にあった12社のうち、11社のご神体をお預りしているそうです。



「展望台」~3ヶ所あり、根室港や市内が見渡せます。たくさんの大漁旗がかざられていました。(9月まで)



216個の風鈴が「4リン」と音がなってます。



高田屋嘉丘衛の銅像



「神馬像」昭和51年に氏子と昭司により奉納

文化三年、北方領土の開拓者である高田屋嘉丘衛氏(かたけ けいゑ)が、(大物主神、事代主神、倉稲魂神)の三神を祀り、子孫の繁栄と地域の発展を祈るため、ここに神社を建てた。この神社は、北方領土の重要な文化財として指定されている。



「福さん(みくじ) つかおひつるよ!!」

